

平成30年秋の国内工場見学会

平成30年11月9日（金）午前7時30分に貸切りバスにて滋賀県へ向けて出発致しました。今回の見学先は ① 宮川バネ工業株式会社（滋賀県東近江市）と ② 高橋金属株式会社（滋賀県長浜市）の2社を見学訪問致しました。今回の見学会参加者は計31名（事務局含め32名）と沢山の方にご参加頂きました。

① 【宮川バネ工業株式会社】

創業1953年、資本金4,000万円、売上4.5億円、従業員39名 主に自動車、家電、農業向けに金属小物精密バネ（板バネ）を設計・製造されています。宮川草平社長は大変若く、（39歳-就任5年目）経営方針、自社の強み・弱み、そして特に従業員への思いを熱く語っておられました。労働人口の減少を最大のチャンスと捉え、従業員満足度上げるため全社員との面談、働きやすい職場作りアンケートなどの取組みをご紹介頂きました。インターンシップ受け入れなど新卒採用にも力を入れられ、2016以降は毎年新卒入社採用をされて離職者ゼロとのことでした。工場見学では、順送のプレス機やマルチフォーミング機の優れた加工性能などご説明頂きました。また省エネ活動にも取り組まれておられ、時計などのランプ表示で電力消費が目で見えてわかる仕組みが興味深いものでした。



宮川社長から会社説明



宮川バネ工業の工場見学の様子



宮川社長を囲んで記念撮影

②【高橋金属株式会社】

設立1958年、資本金9,832万円、従業員260名、金型設計製作、プレス加工、板金加工、パイプ加工、溶接、組立など設計から完成まで一貫生産をされている会社です。特に技術力は優れており、プレス成形のみで鏡面加工を実現する「鏡面プレス加工技術」や機械加工なしで複雑三次元形状部品加工と同時に金型内ねじ転造（雄ネジ）を高精度にプレスの1ストロークで成形する「型内ねじ転造加工技術」は共に第5回、第7回『ものづくり日本大賞』を受賞されておられます。

会社説明して頂いた西村清司様（執行役員、技術開発部長）はご自身が撮影された写真を交えながら、滋賀県・琵琶湖の地元愛に溢れたお話を頂き、開発製品の製造工程ビデオや製品サンプルなどはその技術力に圧倒されるばかりでした。最後に自社開発された水系洗浄機のご説明がありました。電解イオン水による洗浄機は客先仕様のオーダーメイド品で累計3,000台の出荷実績があり、環境にやさしいことが特徴ですが、開発の経緯には琵琶湖の環境問題への取り組みがあったとのことでした。

工場見学は広大な敷地に大きな工場が3棟あり、事務所・廊下・トイレはもとより製造現場も大変きれいでした。安全に関する教育をする「ものづくり道場」なども見学させて頂き、あらゆる規模の大きさに驚くばかりでした。一番驚いたことは水陸両用バスを開発されており、近い将来は自社開発バスを琵琶湖やハウステンボスなどで運行する目標だそうです。（現在でも高橋金属のグループ会社では物流・観光バス事業をされており琵琶湖で水陸両用バスの運行もされておられるそうです。）



高橋金属の会社説明



高橋金属の会社説明



西村様を囲んで記念撮影